

## 安全データシート（SDS）

## 1. 化学品及び会社情報

製品の名称                      リバースワックス  
会社名                            株式会社リバースジャパン  
住所                               〒956-0812 新潟県新潟市秋葉区中新田 357  
電話番号                         0250-47-6071  
FAX 番号                        0250-24-0181

## 2. 危険有害性の要約

## GHS 分類

物理化学的危険性			
爆発物	区分外	引火性液体	区分外
自己反応性化学品	区分外	自然発火性液体	区分外
自己発熱性化学品	区分外	水反応可燃性化学品	区分外
酸化性液体	区分外	有機過酸化物	区分外
金属腐食性物質	分類できない		
健康に対する有害性			
急性毒性（経口）	分類できない	皮膚感受性	分類できない
急性毒性（経皮）	分類できない	生殖細胞変異原性	分類できない
急性毒性（吸入：ガス）	分類できない	発がん性	分類できない
急性毒性（吸入：蒸気）	分類できない	生殖毒性	分類できない
急性毒性（吸入：粉じん、ミスト）	分類できない	特定標的臓器毒性（単回ばく露）	分類できない
皮膚腐食性/刺激性	分類できない	特定標的臓器毒性（反復ばく露）	区分 2（呼吸器）
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	分類できない	吸引性呼吸器有害性	分類できない
呼吸器感受性	分類できない		
環境に対する有害性			
水生環境有害性（急性）	分類できない	水生環境有害性（長期間）	分類できない
オゾン層への有害性	分類できない		

## GHS ラベル要素

絵表示またはシンボル：



注意喚起語：                      警告  
危険有害性情報：                長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ（呼吸器）  
注意書き  
[予防策]：                        粉じん/ミスト/蒸気/スプレーの吸入をしないこと。  
[対 応]：                        気分が悪いときは、医師の診断/手当てを受けること。  
[廃 棄]：                        内容物/容器を関連法規制ならびに地方自治体の基準に従い廃棄すること。

### 3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別：混合物

一般名：表面仕上げ用樹脂ワックス

成分	含有量	化学式	CAS No.
メタルフリータイプアクリル系コポリマー	14%	社外秘	社外秘
ポリオレフィンワックス	2.5%	社外秘	社外秘
アルカリ可溶性樹脂	1.0%	社外秘	社外秘
可塑剤（非リン系）	1.0%	社外秘	社外秘
融合剤（カルビトール系）	3.0%	社外秘	社外秘
レベリング助剤（フッ素系）	微量	社外秘	社外秘
消泡剤、他	微量	社外秘	社外秘
水	71%	H <sub>2</sub> O	7732-18-5
(スクロース/K/Ca/Na)発酵液	7%	社外秘	社外秘

※成分及び含有量は営業上の秘密に該当するため、秘密保持契約締結後に別途通知します。

### 4. 応急措置

吸入した場合	直ちに新鮮な空気のある場所へ移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。 気分が悪い時は医師の診察を受ける。
皮膚に付着した場合	水道水で十分に洗浄し、皮膚調整用クリームを塗布する。 刺激が残っている場合は、医師の診断を受ける。
眼に入った場合	水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 すぐに製品または安全データシート（SDS）を持参して眼科医の診断を受ける
飲み込んだ場合	直ちに口をすすがせて多量の水を飲ませる。 意識のない場合には、口から何も与えない。 無理に吐かせないで、速やかに医師の診断を受ける。

### 5. 火災時の措置

適切な消火剤	注水、水噴霧、水、炭酸ガス、ドライケミカルなどの一般消火剤等を使用
使ってはならない消火剤	知見なし
特有の消火方法	消火作業は、風上から行う。周囲の設備等に散水して冷却する。
消火を行う者の保護	適切な空気呼吸器、化学用保護衣を着用する。

### 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、 保護具及び緊急措置	関係者以外の立入りを禁止する。 作業の際には、必ず保護具(ゴム手袋、保護眼鏡、保護衣、ゴム長靴等)を着用し、眼、皮膚への接触やミストの吸入を避ける。 屋内の場合、作業が終わるまで十分に換気を行う。
--------------------------	--

---

環境に対する注意事項	多量の場合、人を安全に退避させる。 流出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。 大量の水で希釈する場合は、汚染された排水が適切に処理されずに環境へ流出しないように注意する。
封じ込め及び浄化の方法及び機材	漏出物を直接河川や下水に流してはいけない。 少量の場合は、吸着剤（おがくず・土・砂・ウエス等）で吸着させ取り除いた後、残りをウエス、雑巾等によく拭き取る。 多量の場合は、周囲への流出を防止し、安全な場所に導いてから処理する。

---

## 7. 取扱い及び保管上の注意

### 取扱い

技術的対策	取扱場所の近くに、緊急時に洗眼及び身体洗浄を行うための設備を設置する。 「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。 容器を転倒させ、落下させ、衝撃を加え、又は引きずるなどの取扱いをしてはならない。
局所排気・全体換気	換気を良くして使用する。
安全取扱注意事項	吸入または飲み込んで서는ならない。 取扱い後は手・顔等を十分に洗い、うがいをする。
接触回避	塩素系漂白剤、次亜塩素酸ナトリウム等と反応して塩素ガスを発生する。

### 保管

安全な保管条件	容器を密閉して換気の良い場所で保管すること。 他のものと混同しないように保管する。 容器は直射日光や火気を避けること。
安全な容器包装材料	包装、容器の規制はないが密閉式の破損しないものに入れる。例えば、ステンレス、ポリエチレン（HDPE）、ポリプロピレンなどの密閉可能な容器など。

---

## 8. ばく露防止及び保護措置

### 保護具

呼吸用保護具	マスク
手の保護具	ゴム手袋
眼の保護具	保護眼鏡
皮膚及び身体の保護具	保護衣

---

## 9. 物理的及び化学的性質

物理状態	液体
色	乳白色
臭い	わずかにアンモニア臭を伴う
融点/凝固点	情報なし

---

---

沸点又は初留点及び沸点範囲	情報なし
可燃性	情報なし
爆発下限及び爆発上限界/可燃限界	情報なし
引火点	情報なし
自然発火点	情報なし
分解温度	情報なし
pH	8.4±1.0 (25℃)
動粘性率	情報なし
溶解度	水（溶媒）には殆ど無限に分散。
n-オクタノール/水分配係数（log 値）	情報なし
蒸気圧	情報なし
密度及び/又は相対密度	情報なし
相対ガス密度	情報なし
粒子特性	該当しない
その他のデータ	比重 1.03±0.01 (25℃) 粘度 5.0±2.0mPa・s (25℃) 不揮発分 22±2.0%

---

## 1 0. 安定性及び反応性

反応性	法規制に従った保管及び取り扱いにおいては安全と考えられる。
化学的安定性	情報なし
危険有害反応可能性	情報なし
避けるべき条件	情報なし
混触危険物質	情報なし
危険有害な分解生成物	知見なし

---

## 1 1. 有害性情報

急性毒性（経口）	製品としてのデータなし
急性毒性（経皮）	製品としてのデータなし
急性毒性（吸入）	製品としてのデータなし
皮膚腐食性/刺激性	製品としてのデータなし
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	製品としてのデータなし
呼吸器感作性	製品としてのデータなし
皮膚感作性	製品としてのデータなし
生殖細胞変異原性	製品としてのデータなし
発がん性	製品としてのデータなし
生殖毒性	製品としてのデータなし
特定標的臓器毒性（単回ばく露）	製品としてのデータなし
特定標的臓器毒性（反復ばく露）	製品としてのデータなし
吸引性呼吸器有害性	製品としてのデータなし

---

---

1 2. 環境影響情報

生態毒性	製品としてのデータなし
残留性・分解性	製品としてのデータなし
生態蓄積性	製品としてのデータなし
土壤中の移動性	製品としてのデータなし
オゾン層への有害性	製品としてのデータなし

---

## 1 3. 廃棄上の注意

化学品（残余廃棄物）、当該化学品が付着している汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報	【7. 取扱い及び保管上の注意】を参照する。 使い終わった容器は、よく洗ってから処理する。 内容物/容器は法令/規則に従って適切に廃棄すること。
--	--

---

## 1 4. 輸送上の注意

国連番号	—
国連分類	
クラス	—
容器等級	—
航空輸送 等級	—
輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策	直射日光を避け、高温のところに置かない。 運搬に際しては容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないよう積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。
国内規制	適用法令の定めるところに従う。

---

## 1 5. 適用法令

化審法	該当しない
化学物質排出把握管理促進法	該当しない
労働安全衛生法	該当しない
消防法	該当しない

---

## 1 6. その他の情報

## 参考文献・引用文献

- ・化審法化学物質改訂第 5 版. 化学工業日報社, 2002
  - ・製品安全データシートの作成指針. 日本化学工業協会, 2001
  - ・吉川治彦. Q&A で解決 化学品の GHS 対応 SDS をつくる本. 丸善出版, 2019
  - ・化管法・安衛法におけるラベル表示・SDS 提供制度. 厚生労働省, 平成 30 年 12 月
  - ・“GHS 分類結果データベース”. 独立行政法人製品評価技術基盤機構（NITE）.
  - ・“国連 GHS 文書”. 経済産業省.
  - ・“GHS 対応モデルラベル・モデル SDS 情報”. 厚生労働省 職場のあんぜんサイト.
-

## 記載内容に関する問い合わせ先

会社名 : 株式会社リバーズジャパン

電話番号 : 0250-47-6071

FAX 番号 : 0250-24-0181

## 作成年月日及び改訂情報

作成日 : 2010 年 10 月 20 日

改訂日 : 2025 年 12 月 2 日

内分泌攪乱作用を有すると疑われる化学物質 [環境省] (環境ホルモン)	原料として使用しておりません。
室内空気汚染物質濃度指針値対象物質 [厚生労働省] (シックハウス対象物質)	ホルムアルデヒド・アセトアルデヒド・トルエン・キシレン・パラジクロロベンゼン・エチルベンゼン・スチレン・テトラデカン・ノナナール・フタル酸ジ-n-ブチル・フタル酸ジ-2-エチルヘキシル・クロルピリホス・ダイアジノン・フェノカルブは、原料として使用しておりません。
学校環境衛生基準検査対象物質 [文部科学省] (シックスクール対象物質)	ホルムアルデヒド・トルエン・キシレン・パラジクロロベンゼン・エチルベンゼン・スチレンは、原料として使用しておりません。
改正建築基準法における建築内装材の規格	当該法律に言う建築材料には該当しません。ホルムアルデヒド、クロルピリホス、ユリア樹脂、メラミン樹脂、ユリア・メラミン共縮合樹脂、フェノール樹脂、レゾルシノール樹脂又はホルムアルデヒド系の防腐剤、添加剤、助剤は、原料として使用しておりません。
リン系化合物	原料として使用しておりません。

- ・ 記載内容については、現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しておりますが、新しい知見により改訂されることがあります。また、注意事項は通常の実施を前提としたものであるため、特殊な取扱いをする場合には用途、用法に適した安全対策を実施の上でご利用ください。
- ・ 全ての化学品は未知の危険性を呈する可能性があり、ここで示した危険性は、起こり得る全ての危険性を網羅したものであるということを保証するものではありませんので、取扱いには注意してください。

以上